

はじめに

令和4年第4回倶知安町定例町議会の開会にあたり、9月定例会以降における教育行政の主だった事務事業の執行状況及びその概要についてご報告いたします。

(学校教育関連)

1 コロナ禍による学校での対応について

9月26日に全国一律の措置として、新型コロナウイルス感染症の全数届出の見直しが行われましたが、本町では引き続き、安全・安心で継続した教育活動を行うことができるよう、各学校の状況について注視しております。

一時は、感染者数も減少して落ち着きがみえましたが、10月下旬より増加傾向に転じ、町内小・中学校で複数の学級・学年が閉鎖となりました。

閉鎖期間中は、一人1台端末の持ち帰りによる家庭でのリモート授業などにより、学びの保証を確保するなど、継続した教育活動を実践してまいりました。

各学校行事につきましては、修学旅行や宿泊研修などの旅行的行事は、予定していた日程を変更することなく、感染対策としてバスを増便対応するなどして、全ての小中学校で無事に終

了いたしました。

また、学習発表会や学校祭は、GIGAスクールサポーター、ICT支援員を中心とした学校との連携により、YouTubeを活用した動画配信をするなど、各校共に工夫して開催いたしました。

2 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和4年度全国学力学習状況調査は、例年実施している国語、算数・数学に4年ぶりの理科を加えて4月19日に実施をいたしました。

本町の結果については、俱知安町小中学校教頭会にて分析を行いましたので、その概要について報告いたします。

まず学力の状況につきましては、小学校では全ての教科において全国平均を上回りましたが、中学校では全国平均に僅かながら届かない結果となりました。

また、家庭学習の状況については、小学校では「家で、自分で計画を立てて勉強をしているか」との項目で全国平均を上回る状況であり、前回調査時に続いて、家庭学習に計画的に取り組んでいる児童が多くなっておりますが、1日当たりの勉強時間では「1時間以上勉強に取り組んでいる」児童は、前回同様、全国平均を下回っております。

中学校でも「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」生徒の割合は全国平均より高い傾向である反面「家庭における平均学習時間」につきましては、残念ながら大きく下回っている状況です。

また「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強に役立つと思うか」との質問には、小学校で71%、中学校では65%と共に全国平均を上回っており、これは本町におけるICT教育の充実を裏付けるものと考えております。

近年、その重要性が改めて指摘されております自尊感情に関する質問では「自分にはよいところがある」と、考える児童・生徒が小・中学校共に高い傾向となっています。

本町では、昨年度に引き続き、道教委の学校力向上事業の地域指定2年目として、新学習指導要領のキーワードである「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、学習規律や授業展開などを中心に教育指導の基本的な形を町内全ての学校で統一した「俱知安プラン」に取り組み、全小・中学校の学力向上を目指しております。

また11月22日には、俱知安プラン合同教育実践発表会を実施いたしました。後志教育局長をはじめとした教育関係者、町内各学校の学校運営協議会委員、町内小中学校教職員などが一同

に会して授業参観や教育講演を実施し、本町の更なる教育課程の改善と発展に努めてまいる所存です。

今後は、コロナ禍にあってもその影響をあまり受けない、児童生徒個々の個性や特質が発揮できる学校行事の創造に向けた一層の工夫・改善が必要であり「俱知安プラン」とも連動させながら取り組みを進めてまいります。

3 通学路合同点検について

本町では毎年、俱知安町通学路安全推進会議を組織し、学校関係者及び役場関係者、警察や道路管理者などの関係機関と協同で、通学において対策が必要な個所の確認と対応を行っております。

今年度におきましては、8月25日に第1回俱知安町通学路安全推進会議を開催し、昨年度からの対応状況について各担当部署から説明をいただきながら、今後に向けた話し合いを行いました。また、合同点検を10月13日に行い、より詳細な状況の把握と迅速な対応が執れるよう、各担当において認識の徹底を図ったところです。

(社会教育関連)

1 倶知安町総合文化祭について

令和4年度倶知安町総合文化祭は、コロナ禍の影響で前年に引き続き、作品展示会のみとなりましたが、町文化協会との共催により10月28日から11月6日までの期間、公民館にて開催することができました。

絵画・書道合わせて197点が出展された児童生徒作品展では、35名の児童生徒への表彰を各所属校にて行いました。

町内各認定こども園や保育所園児等の作品は533点、生け花や一般の方による募集作品等は69点、陶芸・絵画などの各サークル等の作品は96点、書道作品は104点が展示され、多数の町民の皆様方が鑑賞し、楽しんでいただくことができました。

また、例年文化祭と同時期に執り行われている文化賞・文化奨励賞授賞式につきましては、11月9日午前11時より公民館中ホールにて、文化賞3名、文化奨励賞3名、後志管内文化団体連絡協議会文化賞1名の表彰が行われました。

2 くっちゃん電子図書館利用開始について

10月28日には、公民館図書室利用の利便性向上及び町民の方々の読書機会の増加を目的として「くっちゃん電子図書館」

の利用を開始いたしました。

利用開始から11月15日までの電子書籍貸出数は延べ228点、新規の利用登録者は41名となっており、電子書籍に対する関心の高さを感じているところです。

また、電子図書館利用開始に合わせて「電子図書館体験会」を10月26日、11月10日に行い、両日合わせて7名の参加をいただきました。高齢者の皆様にも使い勝手のよいものとなりますよう工夫・改善を図りながら、今後とも普及啓発に努めてまいります。

3 町営プールの建替及び絵本館について

町営プール建替の検討につきましては、昨年度より進めておりました「基本構想」が10月に策定となりました。関係者へのヒヤリングやアンケートなどを重ね「多世代が快適に活動できるプール機能」等をはじめとする基本の方針を定め、想定される機能や規模について整理いたしました。

候補地については、基本の方針を元に複数の敷地を比較検討し、世代交流センター敷地を主たる候補地と決めました。より具体的な整備プランにつきましては、11月下旬より策定業務

が開始となりました「基本計画」において、さらなる検討を行ってまいります。

併せて、プールの建替候補地を世代交流センター敷地と定めたことから、9月定例議会においてご報告のとおり、老朽化が進む絵本館につきましても同敷地での更新を進めます。

今後、プール・絵本館の具体的な整備につきましては、基本計画業務において機能や規模、整備敷地や配置等を一体的に検討してまいります。

4 倶知安町スキーの町宣言50周年記念特別講演について

本年度50周年を迎える「スキーの町宣言」記念事業については、10月25日に倶知安中学校体育館にて、共に本町出身でありますバイアスロン競技の前田 沙理さん、アルペン・スキークロス競技の大越 龍之介さんの2名をゲストにお迎えして特別講演を開催し、両ゲストのこれまでの経験や倶知安町の魅力などについて、お話いただきました。コロナ対策の観点から各教室とのリモート中継も併用し、町内小学校高学年と中学生、役場での中継も含め約550人に参加頂く事ができました。

9月25日には3年ぶりとなったサマークロカン大会を、50周年記念の冠大会として開催頂いており、今後も同様の冠大会

の実施や、小中学生へのリゾートエリアのリフト券配布事業や利用促進の取り組みなど、引き続き節目の年として記念事業を継続してまいります。

5 社会体育関連施設の利用について

(1) 町営プール代替施設利用事業について

令和3年度より実施しております、アルペンホテルを活用した代替施設利用事業につきましては、6月1日から10月31日までの期間で実施しました。今シーズンの利用者数は、個人1,958名、団体サークル1,729名の利用がありました。

来年度以降につきましては、9月の教育行政報告でもご報告いたしましたが、当ホテルの大規模改修により休館となることから、プール施設についても利用できなくなるため、現在も新たな代替施設の確保に向けて調整を進めております。プールをご利用いただいております皆さまにはご迷惑をお掛けしておりますが、少しでも負担を軽減できますよう、今後も引き続き代替施設の確保に向け、町長部局と調整を図りながら取り進めてまいります。

(2) パークゴルフ場について

パークゴルフ場は、5月21日にオープンし、10月31日で今シーズンの営業を終了しました。

今シーズンも新型コロナウイルス感染症の対策に配慮しながらの営業となりましたが、延べ人数で大人が10,998名、子どもが155名の合計11,153名で、前年度対比109.7%、使用料につきましては、3,418,000円で前年度対比104.3%の実績となりました。

6 倶知安町スポーツ表彰について

令和4年度の倶知安町スポーツ表彰被表彰者は、昨年度において各種スポーツ大会で優秀な成績を収めた個人・団体に対し「スポーツ賞」として5個人・2団体「スポーツ奨励賞」として11個人・5団体にそれぞれ授与したところです。

7 町民リバーパークマラソン記録会について

コロナ禍の影響により開催できずにおりました町民リバーパークマラソン記録会を10月2日、3年ぶりに開催いたしました。

大会の規模を縮小するなど感染対策に十分配慮したうえで開催し、距離別に1km、3km、5kmの3コースに81人、親子

の部（1 km）には 22 組 44 人の参加があり、総勢 125 人の参加をいただいたところです。

8 美術館・風土館事業について

美術館では 10 月 1 日から始まりました倶知安高校 100 周年記念京極夏彦美術展に、町内外から多くのファンが来館し、楽しんでいただいております。さらに開催期間中の 11 月 12 日に行った京極夏彦トークイベントには、大変多くの方々からの申し込みがございましたが、コロナ禍対応のため残念ながら定員を 80 名に限定させていただきました。関係者の皆様より沢山のサポートを頂戴して、無事盛会裡に終えることができました。

後志管内の小学生、中学生を対象にした「第 15 回ふるさとを描こう」絵画コンクールでは、昨年を上回る 147 点の応募がありました。応募いただいた全 147 点は 11 月 27 日まで当館ロビーで展示し、多くの方々にご鑑賞いただいております。

風土館では、観察会「ふるさと探訪」や子供たちを対象とした「寺小屋ミュージアム」などの各種イベントを開催しました。

地域の自然の生き物、歴史にふれることを通じて、知り、学ぶことの楽しさや大切さを感じる機会を、今後とも提供してまいります。

むすびに

以上、第3回定例町議会以降の教育行政の主な事業について
ご報告申し上げましたが、事務事業の詳細につきましては、以
下に掲載しております資料をご参照いただきたいと思います。
これで教育行政報告を終わります。

(資料1) 会議などの開催状況及び事業概要 P12～

(資料2) 各種工事、委託業務等の発注状況 P20～